

平成 28 年 2 月 25 日

養父市議会議長 勝 地 恒 久 様

議会改革調査特別委員会
委員長 水 野 雅 広

議会改革調査特別委員会中間報告書

当委員会において調査したことを、次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 平成 27 年 12 月 14 日（月）、平成 28 年 1 月 12 日（火）、1 月 20 日（水）、1 月 22 日（金）
- 2 調査事項 議会改革について
- 3 調査内容

平成 27 年 12 月定例会において、当委員会の中間報告を行った以降、議会改革チェックシートに基づいて、それぞれの項目の議論とともに、申し合わせ事項及び慣例についての改正案の協議とまとめを行った。

本年改選後以降の議長の任期、委員会の権限、現行の会派制のあり方などについて、委員からのさまざまな意見を集約し、委員会としてまとめた結果は、今後、全員協議会の中で議論しながら進めていくこととする。

また、本年 6 月までに結果を出すとしている議員定数と議員報酬については、1 月 20 日、22 日の 2 日間にわたり、養父市内の 20 団体から、有識者を含む 28 人を参考人として招致し、意見聴取を行った。参加された市民からは、議員定数・議員報酬ともに多様な意見が出された。それらの意見を参考に、委員会で議論を重ね、まとめていきたい。

当市議会では、今までホームページ上での議決結果の公開や議会広報紙での議員の賛否の意思表示の掲載、また議会報告会で議決結果の報告などをしてきたが、新たな改革の一つとして、今定例会から提出議案の公開に取り組んだ。これは近隣議会でもなされており、議決前に議案を公開することで、市民が議員を通じて議案に対する意見を発することができるなど、議会への市民参加を進めるための改革の一環になると考える。

今後も、当委員会は、議会のさらなる改革に向けて調査、検討していく。